

令和4年度 事業計画

社会福祉法人 伯耆町社会福祉協議会

令和4年度 社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会事業計画

＜重点事項＞

1 地域福祉関係

- ① 「住み慣れた地域で、支えあい安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を掲げて、「我が事・丸ごと」の地域づくりの「我が事」に焦点を当て、支え合い・見守り体制づくりを地域の皆さんとともに進めています。
- 今般の長期にわたる新型コロナウイルス感染症という災禍は、人の行動様式、人と人との繋がりの変容など社会経済活動を大きく変えました。そのことは、地域福祉推進の在り方そのものを変えてきているともいえます。未だ収束の出口が見えない状況にありますが、こうした中にあっても、人は家族や地域の中で互いに支え合って暮らしているという根本は変わることはありません。地域福祉活動の推進に関わる私たち社協職員は、この災禍の中にあっても、過疎や高齢化、小家族化などの地域課題に向きあって、必要な活動を地道に進めていきたいと考えています。
- ② 次代を担う児童・生徒の福祉の精神を育むために、福祉活動体験や交流の機会を提供することにより、子ども達に共生社会実現への理解を醸成させていきます。家庭や学校教育を補足できるよう、社会福祉協議会の持ち味である「実践」による福祉教育に取り組みます。
- ③ いつ起きるかわからない大規模災害において、社会福祉協議会に求められるボランティアセンター運営等に対応するため職員の資質向上、体制づくりに、引き続き取り組みます。今年度から、広く住民を巻き込んで災害ボランティアについて学ぶ研修会を開催していきます。
- ④ 生活困窮者自立支援事業等の課題のある人への個別支援については、民である社協のフットワークを生かして、行政と連携しながら、当事者に寄り添って自立や見守り等の支援を行っていきます。

2 介護サービス関係

- ① 利用者の立場に立ち、一人ひとりに求められるサービスは何かということを常に考えながら、質の高いサービスを提供していきます。
- ② 研修機会の確保など職員の資質の向上に努めます。
- ③ 関係法令、業務マニュアルの遵守、ヒヤリハットの共有と点検、関係機関等から適宜適切な情報収集を行いながら、安全で良質なサービス提供に努めます。
- ④ マンパワーの確保など厳しい現場環境の中にはあっても、サービスの質を落とすことなく運営ができるように、常に業務方法の改善、効率化やコスト意識向上に取り組みます。また、介護報酬等が伸び悩む中で職員の意識改革を促し、新たなニーズの掘り起こしなど、収入の確保に積極的に取り組みます。
- ⑤ 今般のコロナウイルス感染症は、介護高齢者施設の経営にも大きな影響を及ぼしています。ひとたび、職員・利用者に感染者集団（クラスター）が発生すれば、場合によって

は事業所の存続にも関わる重大な事態になりかねません。全職員がウイルス感染に対する知識を高めて、徹底した感染予防に取り組みながら運営にあたります。

3 健康増進事業関係

- ① 健康を切り口にした地域づくりを推進するため、運動とコミュニティづくりに関係機関等と連携して取り組みます。この事業は、伯耆町が仕組まれた町民の健康増進に関する目玉事業であります。それを本会が実践者として担っているということですので、町からの期待に応えるべく、引き続き努力をしていきます。
- ② フィットネス＆スタジオパル (F&SP) は、オープンして6年目となり、今では、地域の中に定着しています。この2年は、思いがけないコロナ感染症の影響で会員数の大幅な減少があり、経営的には大変厳しい状況となっていますが、徹底した感染予防に取り組むことで安全に配慮した運営をしていきます。
収支面では、最低でも現在の会員数（約330人）を確保し続けることがマイナス収支とならない大前提であります。さらに、会員の満足度を高めるプログラム、サービスを提供して会員増（収入増）への取組を図るとともに、効果の小さいコストを洗い出しながら経営に当たります。
- ③ 溝口テラソでのワーキング・コミュニティ・スペース (WCS) は、軽作業（工賃収入）と運動を介在させての高齢者の健康づくりと居場所を提供することを目的にした事業ですが、この事業の活性化に取り組みます。

4 小規模保育事業関係

- ① 0歳から2歳の低年齢児の健全な成長と保護者の子育て支援であることを念頭におき、法令及び伯耆町から示された業務仕様を遵守して適切な運営に当たります。
- ② 小規模保育所のメリットを存分に發揮できるよう、職員全員が共通の目標（子どもの最善の利益）をもって保育に取り組みます。

5 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策は、令和4年度においても引き続き本会全体としての最重要課題であり、各事業所において徹底した感染予防対策に取り組みます。

6 事業継続計画（BCP）の策定への取組

本会における事業継続計画の策定に取り組みます。

※BCP（ビー・シー・ピー）とは、Business Continuity Plan の略称で、業務継続計画などと訳されます。大規模な感染症や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になります。まず、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示した計画のこと。

令和4年度 地域福祉事業 説明資料

事 業 区 分 事 業 名	新規 継続	事 業 内 容 ・ 実 施 方 法	実施 回数等	事 業 効 果 等	
				事 業	効 果
さわやか福祉事業					
福祉地域座談会	○	令和4年度から、地域の実情を把握し記録として残することで、継続的な地域支援のきっかけを作る。新型コロナの影響で今までのように多くの住民を集めることは難しいと考えられるため、開催方法を工夫しながら、地域の声をくみ取る事業とする。 実施期間：令和4年度～令和6年度(3ヶ年)	30	事業説明型座談会ではなく、地域の実情の聞き取りを中心にした座談会にすることで、よりたくさん的情報を得ることが出来る。また、その情報を継続的に残すことにより、地域の状況や課題を把握し地域支援に繋げていくことができる。	
配食サービス事業	○	75歳以上の独居高齢者や高齢者世帯、身体に何らかの障害がある方に、週2回、配食弁当をお届けする。8月の配食は休止にするが、飲み物を持参して安否確認を行う（飲料提供：コカ・コーラ様）。調理・配達は、ボランティアの協力を得て行う。利用者増加に向け、広報紙や友愛訪問にてPRを行う。	2/週	週2回(火・木)配食弁当をお届けすることで、定期的な安否確認と適切な栄養摂取をもらうことができる。8月は飲み物を持参して訪問し、脱水や熱中症にならないか安否確認をすることができる。	
高齢者いきがい対策事業	○	独居高齢者の集い(実りの会)を開催する。	6回	独居高齢者の閉じこもり予防や仲間づくり、生きがいづくりを目的として各種の研修・講習を行う。	
	○	友愛訪問(75歳以上の独居高齢者訪問)を行う。対象者の誕生日を中心訪問し、必要に応じて関係機関等と協力して支援にあたる。	通年	独居高齢者が増える中で、皆さんが日々どのような生活をしているのか、どのような思いがあるのか、実際に地域に出向いて話を伺う。そうした声を事業に反映させていく。	
	○	緊急カード(キーホルダーとキーフックもセット)の作成と配布を行う。	通年	外出時の緊急対策として緊急連絡先を記載したカードを発行する。年1回は民生委員と協力して記載情報の確認も行う。 通算発行枚数630枚(R4.1末現在)	
	○	高齢者等を対象に、文書内容の理解支援や書類記載支援を行う。	随時	高齢者や障がい者の文書等の読み書きをサポートし、読み書きの困難さから生じる生活のしづらさを軽減し、日常生活を安心して送ることができるようとする。	
地域福祉推進プラン	○	地域福祉推進プランの進捗管理をする。 ※「伯耆町の地域福祉計画」と「本会の地域福祉活動計画」を地域福祉推進プランとして一体的に策定(計画期間：令和4年度～令和8年度)。	随時	地域福祉推進プランの進捗状況を確認しながら、行政と一緒に効果的、効率的な活動の展開を図る。	
困窮時食料支援事業	○	生活に困窮し、食料に困った方を対象に、食料(購入費用)援助を行う。	随時	お金がない、食べるものがいるという命に関わる相談があった場合、食料支援を行うことで対応を図ることができる。	
○	購入費用とは別にフードパートナー事業を行う。地域住民に食料品(主に米)の提供者(フードパートナー)となってもらい、食料の相談があった場合に提供して頂く。	随時	食べるものがいる方を支援することができるとともに、地域住民に生活困窮の問題が身近にあることを共有してもらうことができる。		
災害時における支え愛地域づくり推進事業	○	地域住民が主体となって行う災害時の対応を円滑に進めるため、平常時から行う支え合いのまちづくりに対し助成を行う(わが町支え愛マップ推進事業から事業名が変更)。	9件	災害時の体制、平常時の見守り体制等の普及を促進する。	
共同募金配分金事業					
おせち配布	○	年末に、ひとり暮らし高齢者等におせちを配布する。	1回	心温まる正月をむかえていただくとともに、歳末募金の啓発となる。	
広報啓発活動	○	広報紙を年5回発行し、情報提供・福祉啓発を行う。ホームページでも必要な情報や新たな情報を提供していく。	5回	広報活動による情報提供や情報収集を行うことで本会事業や福祉活動に理解を得ることができる。	
集落助成事業	○	集落及び団体等での世代間交流事業等に助成を行う。	2件	共同募金の啓発、地域福祉の促進	

令和4年度 地域福祉事業 説明資料

事 業 区 分 事 業 名	新規 事 業	継続 事 業	事 業 内 容 ・ 実 施 方 法	実施 回数等	事 業 効 果 等	
					事 業	効 果
はつらつ教室		○	軽度認知症及びその可能性のある方を対象に、5教室(それぞれ毎月2回)の予防教室を実施する。	120回	認知症予防、心身ともに元気で過ごしてもらう生活習慣づくり	
福祉サービス利用援助事業		○	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な人が自立した日常生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用援助等を行う。	随時	利用者が自立した日常生活を送るために援助を行い、生活基盤の安定を図る。(R4.1現在の契約件数4件)	
生活困窮者自立相談支援事業		○	生活困窮者の課題を聞き取りし、ニーズを把握する。アセスメントに基づいたプランを作成し、相談者に寄り添いながら課題解決を図っていく。	随時	様々な要因が重なり合い生活に困窮している方に寄り添いながら支援することで、早期に課題解決を図り、自立して生活することができる。	
生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)		○	深刻な生活課題の解決に向け、既存制度では対処できない事案に対して関係機関と協力して支援をする。必要に応じて、経済的支援を行うこともできる。鳥取県社会福祉協議会を基幹として、県内社会福祉法人と共同で行う。	随時	県内社会福祉法人と協同して生活に困った方に対して支援を行うことで、既存制度では対処できない課題を解決することができる。	
生活福祉資金貸付事業		○	生活困窮者を対象に、生活福祉資金の相談受付・窓口業務を行う(決定・貸付は鳥取県社協が行う)。	随時	生活困窮者を対象に、資金的な支援をすることで生活の安定を図ることができる。	
伯耆町社会福祉資金貸付事業		○	生活福祉資金では対応しにくい相談案件に対して、本会が主体となって小口の貸付をする(上限5万円)。	随時	生活の維持に関わる緊急的な状況に対して、資金的な支援をすることで、生活の安定を図ることができる。	
高齢者ワーキング コミュニティー事業		○	65歳以上の会員を募り、地元企業から受注した軽作業をしてもらう。	通年	高齢者の働く場をつくり、収入を得ながら健康増進スペースを利用して介護予防に取り組む。	
DVD更新事業	単年度事業		現行の社協PR用DVDの全面更新を行う。		現行のDVDを更新し現状に合った事業紹介をすることで、本会事業や地域福祉に対する理解を深めてもらうことができる。	

令和4年度 介護サービス事業

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	居宅介護支援事業 (ケアマネージャー)				
前 年 度 予 算 額	本 年 度 予 算 額	財源内訳			
		居宅介護支援 介護料収入	その他の事業収入 (受託収入)	その他の事業収入 (その他の事業収入)	その他
22,426	21,964	19,867	1,997	100	0

(事業内容の説明)

○介護保険事業

ケアマネージャーは要介護者(要支援者)が居宅で介護サービスを適切に利用できるように様々な手続きを行なってサポートする。

【事業概要】

居宅介護支援サービスの提供

- ・居宅サービス計画の作成
- ・要介護認定の申請及び変更の代行
- ・給付管理票の作成及び提出
- ・情報提供、連絡、調整

<職員数> 4.2人 (専任 4名、兼任 1名)

<目標数> 給付管理業務月間実人員 要介護者 計 105人

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
35人	45人	18人	4人	3人

【収 入】

①介護報酬収入	19,867 千円 (基本報酬+初回加算+入院連携加算+特定事業所加算)
②その他事業収入(受託事業収入)	1,997 千円
③その他事業収入(認定調査委託料)	100 千円
計	21,964 千円

【支 出】

①人件費支出	15,906 千円 (正職4名:内再任用3名)
②事業費支出	728 千円
③事務費支出	430 千円
④支払利息支出	26 千円
⑤リース債務返済支出	560 千円
⑥拠点区分間繰入金支出	794 千円
計	18,444 千円

(当期資金收支差額 3,520 千円)

令和4年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		岸本通所介護事業							
前 年 度 当 初 預 算 額	本 年 度 予 算 額	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			都道府県補助金収入・雑収入
		介護報酬 収入	介護負担 金収入(公 費含む)	事業費収 入	事業負担金 収入(公費 含む)	食費収入	事業利用 者食費	いきいきデ イサービス 収入	
69,781	63,339	44,888	4,987	7,037	781	3,583	986	585	492

・介護保険通所介護事業、日常生活支援事業総合事業を行う。

【事業概要】要介護・要支援の認定を受けた利用者及び事業対象者に、適切な介護を提供し、自立支援を助け、家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた方。

<自己負担> 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として600円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※令和4年度より、中重度者ケア体制加算を廃止。(平均介護度が下がり算定できなくなつたため)

※サービス提供体制加算(Ⅰ)、介護職員処遇改善加算(Ⅱ)、入浴介助加算(Ⅰ)を継続算定。

※令和4年度より要介護の利用者から、個別機能訓練加算(Ⅰ)口、口腔機能向上加算(Ⅰ)を算定。

※令和4年度より要支援の利用者から運動器機能向上加算、口腔機能向上加算(Ⅰ)を算定。

【令和4年度 利用者数の年間目標:上段は令和3年実数、()は実利用者数平均】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和3年度	1,615(13.0)	2,645(18.0)	1,165(6.5)	71(0.5)	0(0)	5,496(38.0)
令和4年度	2,240(17.2)	2,240(15.4)	1,328(6.7)	299(1.0)	0(0)	6,107(40.3)
	事業対象	要支援1	要支援2	計		
令和3年度	277(4.6)	291(6.4)	933(10.6)	1,501(21.6)		6,997(59.6)
令和4年度	384(6.0)	336(7.0)	876(12.0)	1,596(25.0)		7,703(65.3)

【収 入】	①介護報酬・事業費収入	51,925 千円(介護44,888千円+総合事業7,037千円)
	②介護・事業負担金収入	5,768 千円(介護4,987千円+総合事業781千円)
	③介護・事業利用者食費収入	4,569 千円(介護3,583千円+総合事業986千円)
	④いきいきデイサービス収入	585 千円(食費含む)
	⑤都道府県補助金収入	462 千円
	⑥雑収入	30 千円
	計	63,339 千円

【支 出】	①人件費支出	50,314 千円 (正職 5名、有期フル5名、短時間 14名)
	②事業費支出	11,181 千円
	③事務費支出	834 千円
	④負担金支出	40 千円
	⑤支払利息支出	30 千円
	⑥リース債務返済支出	940 千円
	計	63,339 千円

令和4年度岸本通所介護事業所行事予定

実施月	行事名	行事予定	ボランティア参加者
4月	上旬 屋外活動	デイ帰宅時近くの桜見物に出かける。	
	中旬 クッキングレク	ティータイムのお菓子「さくらもち」を作る。(レク時間・2日間)	
	下旬 花・野菜の種まき	デイサービス花壇に花や野菜の種をまく。(夏や秋に収穫した野菜は昼食の食材として試食する)	
5月	下旬 避難訓練	利用者を対象に火災を想定した避難訓練の実施。(レク時間・1日間)	
6月	上旬 笹まき作り	利用者が1人2個ずつ笹まきを作る(レク時間・2日間)	
	下旬 健康講話	利用者を対象に「夏の健康管理」について講話。(レク時間・3日間)	仲村医師又は看護師
7月	上旬 七夕交流会	中学校職場体験の学生と七夕祭を催し、交流を図る。	中学生職場体験
	時期未定 ボランティア体験	夏休みを利用しての小、中、高の介護実習体験。	学生ボランティア
	下旬 お好みメニュー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
8月	上旬 夏祭り	夏祭りの雰囲気を味わってもらう為、盆踊り、屋台等を実施(レク時間・2日間)	学生ボランティア
9月	中旬 敬老会	敬老を慶び、昼食に「長寿お祝い御膳」、レク時間に演芸の披露(レク時間3日間)	
10月	上旬 屋外活動	昼食後、紅葉見物(レク時間・6日間)	
	中旬 口腔ケア	利用者を対象に「口の中の衛生」について講話と口腔ケア指導(レク時間・1日間)	歯科衛生士(米子保健所)
11月	上旬 ハロウィンおやつ作り	ホットケーキにお好みの物をサンドしてハロウィンの飾りをしておやつを作り、みんなで試食する。(レク時間・2日間)	
	下旬 防災・消防訓練	利用者、職員を対象に災害を想定した避難訓練等の実施(レク時間・1日間)	
12月	上旬 東みづほ幼稚園交流会	東みづほ幼稚園児と交流を図る(レク時間1日間)	東みづほ幼稚園児
	上旬 こしき保育所交流会	こしき保育所児童と交流を図る(レク時間1日間)	こしき保育所児童
	中旬 クリスマス会	1年の締めくくりとして、「クリスマスランチ」の昼食、午後は演芸会を開催(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
	中旬 SUT合唱団コンサート	SUT合唱団による、クリスマスコンサートを開催。	
1月	上旬 新年会	利用者が1年間笑顔で過ごせることを祈り、新年会を開催(レク時間2日間)	
	下旬 お好みメニュー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
2月	中旬 クッキングレク	ティータイムのお菓子、バレンタインデーにちなんで手作りケーキ作り。(レク時間・2日間)	
3月	上旬 ひな祭り	ひな祭りにちなんで作品作り。(レク時間)	
個別レク	午前レク	午前レクは、主に塗り絵、手作業、計算などで脳の活性化を目指す。毎月、押し花・歌唱指導・隔月で日赤ボランティアも訪問され交流を図る。	
午後レク	午後レク	集団ゲームを中心に行い、交流と身体機能低下の予防を図る。また、不定期でハーモニカ演奏、隔月でギター・ライブなどの個人ボランティアが訪問され、交流を図る。	
運動・体操	運動・体操	午前レクの後、午後レクの前に、体操、運動を行い、身体機能低下の予防を図る。	
口腔ケア・体操	口腔ケア・体操	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行い、口腔機能の維持向上を目指す。	

※4月～6月の屋外活動やボランティア参加に関してはコロナ感染の状況をみて予定を立てる。

※クッキングレクは十分なコロナ対策を取りながら実施する。

令和4年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	岸本身体障害者デイサービス介護事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
2,626	3,593	3,124	130	339	0

・障害福祉サービス事業を行う。

※令和4年度より、町からの委託事業で実施している日中一時支援事業をサービス区分として分ける。

【事業概要】

<対象者> 身体障害者及び障害児

<自己負担> 食事代 300円(生活介護) 600円(日中一時支援)

【令和4年度 利用者数の年間目標:上段は令和3年度実数見込】

【生活介護】

	実人数	のべ人数
令和3年度	4	294
令和4年度	4	432

【日中一時支援】

	実人数	のべ人数
令和3年度	2	68
令和4年度	1	48

【収入】

①自立支援給付費収入	3,124 千円
②利用者負担金収入	130 千円
③受託事業収入	339 千円
計	3,593 千円

(日中一時支援事業)

【支出】

①人件費支出	3,134 千円
②事業費支出	459 千円
③事務費支出	0 千円
計	3,593 千円

(当期資金収支差額 0千円)

事業名	溝口身体障害者デイサービス介護事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
1,659	3,365	2,908	148	309	0

・障害福祉サービス事業を行う。

※令和4年度より、町からの委託事業で実施している日中一時支援事業をサービス区分として分ける。

【事業概要】

<対象者> 身体障害者及び障害児

<自己負担> 食事代 300円 600円(日中一時支援)

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和3年度実数見込】

【生活介護】

	実人数	のべ人数
令和3年度	2	447
令和4年度	2	480

【日中一時支援】

	実人数	のべ人数
令和3年度	1	23
令和4年度	1	48

【収入】

①自立支援給付費収入	2,908 千円
②利用者負担金収入	148 千円
③受託事業収入	309 千円
計	3,365 千円

(日中一時支援事業)

【支出】

①人件費支出	2,464 千円
②事業費支出	901 千円
③事務費支出	0 千円
計	3,365 千円

(当期資金収支差額 0千円)

令和4年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	溝口通所介護事業								
前年年度	本年年度	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			
当初予算額	予算額	介護報酬 収入	介護負担 金収入 (公費含 む)	事業費収 入	事業負担 金収入 (公費含 む)	食費収入	事業利用 者食費	いきいき デイサー ビス収入	
56,358	53,871	39,547	4,734	3,809	463	3,838	659	336	485

・介護保険通所介護事業、生活支援・総合事業を行う。

【事業概要】要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた利用者に、適切な介護を提供し自立支援を助け家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

＜対象者＞ 介護認定申請の結果、要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた方。

＜自己負担＞介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として600円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※サービス提供強化加算Ⅱ、令和2年度より、処遇改善加算を実施。

【令和4年度 利用者数の年間目標:上段は令和3年度実数()は実利用者数平均】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和3年度	2,847(18)	2,592(15)	206(2)	11(0.2)	23(0.5)	5,842(35.7)
令和4年度	3,043(23)	2,610(17)	206(2)	0(0)	0(0)	5,859(42.0)
	事業対象者	要支援1	要支援2	計		介護・支援合計
令和3年度	217(2)	102(2)	616(8)	935(12)		6,777(47.7)
令和4年度	217(2)	108(2)	616(8)	941(12)		6,800(54.0)

【収入】	①介護報酬・事業費収入	43,356 千円(介護39,547千円+総合事業3,809千円)
	②介護・事業負担金収入	5,197 千円(介護4,734千円+総合事業463千円公費含む)
	③介護・事業利用者食費収入	4,497 千円(介護3,838千円+総合事業659千円)
	④いきいきデイサービス収入	336 千円(食費含む)
	⑤都道府県補助金収入	455 千円
	⑥雑収入	30 千円
	計	53,871 千円

【支出】	①人件費支出	45,538 千円 (正職5名、フルタイム3名、短時間 11名)
	②事業費支出	7,756 千円
	③事務費支出	400 千円
	④負担金支出	40 千円
	⑤支払利息支出	6 千円
	⑥リース債務返済支出	131 千円
	計	53,871 千円

令和4年度 溝口通所介護事業所(行事)予定

実施日	行事名	行事内容	実施日数
4月 上旬	お花見(開花や天気による)	伯耆町内の桜を午後レク時間にお花見に出かける。	6日
5月 上旬	端午の節句	こいのぼり作り等をして作品展示を行う。	3日
19日前後	創立記念(5月19日)	デイサービス創立29周年。昼食は特別メニューでお祝いする。	6日
6月 上～中旬	春の屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ、外出や買い物を楽しむ。	5日
7月 上旬	七夕まつり	昼食は七夕特別メニュー。午後レクで利用者職員芸や短冊の披露をする。	6日
9月 下旬	敬老会	敬老会として昼食は特別メニューでお祝いする。	6日
10月 中旬	秋の屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ、外出や買い物を楽しむ。	5日
11月 下旬	✿お楽しみレストラン	昼食がセレクトメニューで、利用者が5品の中から好きな定食を選んで食べる。	6日
12月 中旬	クリスマス会	クリスマスマニューやプレゼント配布。クリスマス会を開催する。	5日
1月 上旬	新年会	職員、利用者との演芸会を開催する。	3日
2月 上旬	節分行事	節分豆まき(紅白ボール)を使った鬼退治ゲームを行う。	3日
中旬	だんだんまつり見学	午後レクの時間に、だんだんまつり[文化センター]に見学に行く。	1日
下旬	たたらまつり見学	午後レクの時間に、たたらまつり[二部公民館]に見学に行く。	1日
3月 上旬	ひな祭り	ひな人形飾りを作って展示し、ひな祭りにちなんだゲームを行う。	3日
21日(祝)	彼岸市	午後レクの時間に、彼岸市の散策に出かける。	1日
21日(祝)	溝口公民館まつり	午後レクの時間に溝口公民館まつり見学にいく。利用者の作品も展示する。	1日
年間	小学校等との交流会	地域福祉の事業とも協力して、小学校児童等との交流会を行う。	適時
常設展示	利用者作品展	利用者の作品の発表の場をつくり、センター来所の町民の方々にも作品を見ていただく。	
毎日午前	手作業、自主運動、マッサージ	午前のレクは作品作りやボランティア交流や自主運動、マッサージ等行う。	
毎日午後	訓練室レクレーション	午後のレクは体操や集団ゲームで楽しく体を動かし、身体機能低下を予防する。	
毎日昼食前後	口腔体操・口腔ケア	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行うことで口腔機能の維持向上を目指す。	

令和4年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		溝口訪問介護事業							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳							
		居宅介護料収入 介護報酬収入	介護負担金 収入(公費 含む)	生活支援・総合事業収入 事業費収入	事業負担金 収入(公費 含む)	その他の事業収入 補助金事業 収入	にこにこヘ ルプ収入	受託金 収入	都道府 県補助 金収入
18,813	22,856	9,157	1,112	6,549	751	4,800	50	230	207

・介護保険訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業を行う。

【事業概要】要介護及び要支援の認定を受けた利用者や、非該当の方に、適切な介護や生活援助を提供し、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように支援していく。また、単独生活支援事業を実施する。さらに町の見守り事業を受託する。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方、非該当で支援が必要な方。

<自己負担> 介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業の利用の方は、介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担することになります。単独生活支援事業の利用の方は実費になります。昨年度から町単独加算を充当する。

※介護給付額はサービス提供時間・内容により異なる。

【令和4年度 利用者数の年間目標:上段は令和3年度実数見込】

【令和4年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和3年度延べ利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和3年度	1,153	1,112	188	87	165	2,705
令和4年度	1,038	1,001	169	78	148	2,434
	事業対象者	要支援1	要支援2	計		介護・支援合計
令和3年度	256	314	1,737	2,307		5,012
令和4年度	230	283	1,563	2,076		4,510

※令和4年度は、令和3年度数字の介護保険90%、介護予防・日常生活支援総合事業は90%を目標としています。

【収 入】	①介護報酬・事業費収入	15,706 千円(介護9,157千円+総合事業6,549千円)
	②介護・事業負担金収入	1,863 千円(介護1,112千円+総合事業751千円 公費含む)
	③その他の事業収入	4,850 千円(補助金4,800千円、単独事業50千円)
	④受託金収入	230 千円
	⑤都道府県補助金収入	207 千円
	計	22,856 千円

【支 出】	①人件費支出	17,434 千円 (正職1名、フルタイム2名、短時間8名)
	②事業費支出	2,351 千円
	③事務費支出	490 千円
	④負担金支出	22 千円
	⑤支払利息支出	7 千円
	⑥車両運搬具取得支出	2,407 千円
	⑦リース債務返済支出	145 千円
	計	22,856 千円

(単位:千円)

事業名	溝口障害者居宅介護事業				
前 年 度 予 算 額	本 年 度 予 算 額	財 源 内 訳			
		介護報酬収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
3,003	6,064	5,688	8	368	0

・障害福祉サービス事業を行う。

【事業概要】

<対象者> 身体、精神、知的、児童の障害者及び障害児

<自己負担> 世帯収入の高い方(現在はなし)

【令和4年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和3年度延べ利用者数見込】

	障 害 区 分			
	身 体	精 神	知 的	児 童
令和3年度	150	839	460	0
令和4年度	150	839	460	0

※令和4年度は、令和3年度数字の100%を目標数字にしています。

【収 入】	①介護報酬収入	5,688 千円
	②利用者負担金収入	8 千円(交通費)
	③受託事業収入	368 千円
	計	6,064 千円

【支 出】	①人件費支出	5,071 千円
	②事業費支出	857 千円
	③事務費支出	134 千円
	④負担金支出	2 千円
	計	6,064 千円 (当期資金収支差額 0千円)

事業名	移送サービス事業				
前 年 度 予 算 額	本 年 度 予 算 額	財 源 内 訳			
		利 用 料 収 入			
116	145	145			

・移送サービス事業を行う。

【事業概要】

<対象者> 要介護1以上の認定を受けた方、障害の方

<自己負担> 輸送料金として 町内200円 町外は5km毎に200円

【令和4年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和3年度延べ利用者数見込】

	区 分						
	町 内	5km未満	5~10km	10~15km	15~20km	20~25km	25~30km
令和3年度	42	13	21	31	21	0	0
令和4年度	42	13	21	31	21	0	0

※令和4年度は、令和3年度数字の100%を目標数字にしています。

【収 入】	①利用料収入	145 千円
	計	145 千円

【支 出】	①人件費支出	15 千円
	②事業費支出	100 千円
	③事務費支出	30 千円
	計	145 千円 (当期資金収支差額 0千円)

(単位:千円)

事業名		小規模保育事業(こどもパル)			
前 年 度 予 算 額	本 年 度 予 算 額	財源内訳			
		受託金収入 (指定管理料収入)	交付金収入	その他収入	
29,527	31,787	30,695	734	358	

(事業内容の説明)

伯耆町指定管理により、小規模保育所(こどもパル)を運営管理する。

●施設概要

- ①名称:伯耆町立小規模保育所 こどもパル
- ②事業形態:小規模保育所(「B型」)
- ③定員:19名
- ④施設敷地面積:899.93m²
- ⑤建物構造:木造平屋 (床面積 274.1m²)
- ⑥附属施設:専用駐車場 712m²

●職員配置

所長:1名(町派遣)
 保育士:5名(内1名は町派遣)
 保育補助:5名
 調理員:1名 調理補助員:3名
 嘱託医師:1名 嘱託歯科医師:1名

(收支予算)

【収 入】

①町指定管理料	30,695 千円
②処遇改善加算交付金	734 千円(4月~9月分処遇改善交付金)
②その他(職員副食費)	358 千円
計	31,787 千円

【支 出】

①人件費支出	24,816 千円
②事業費支出	5,634 千円
③事務費等支出	762 千円
④負担金支出	21 千円
⑤繰入金支出	554 千円(法人運営事業へ)
合計	31,787 千円

令和4年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	岸本健康増進事業(フィットネス＆スタジオ パル)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
		事業収入 (利用料収入)	町受託収入	
26,893	26,085	26,018	67	

(事業内容の説明)

町の策定した「ほうき健康経営プロジェクト事業」計画に沿って実施するスポーツジム(フィットネス＆スタジオパル)。収益事業として自主運営する。

●施設概要

①ジムエリア (117.69m²) マシン20台設置

【マシン内容:有酸素マシン8台、筋トレマシン7台、ストレッチマシン3台、振動マシン2台】

②スタジオエリア (106.58m²) 1室 ※スタジオ内にはバーチャルレッスン用スクリーン等有

③更衣室、ホール、ギャラリー、事務室

●主な事業内容

①会員獲得のための販売促進

②スタジオレッスン指導(主にラディカルフィットネス)

③バーチャルレッスン(映像プログラムレッスン)

④運動指導(マシントーニング、ショートレッスン他)

⑥パルひろば等を活用したイベント開催

⑦その他運営に必要な事業

(収支予算)

【収入】

①利用料収入 26,018 千円

※会員数(フィットネス) 339名/月平均、(カルチャー) 20名/月平均で算出

②町受託収入 67 千円

※特定保健指導を受けた町民を対象とした運動提供(年間3名利用見込み)

合計 26,085

【支出】

①人件費支出 9,692 千円

【正職員1名(テラソ兼務)・フルタイム2名(内1名9月採用予定)、パート3名(内1名テラソ兼務)】

②事業費支出 11,241 千円(消費税 1,186千円、法人税269千円計1,455円含む)

③事務費等支出 2,203 千円

④繰入金支出 1,426 千円(センター指定管理事業1,000千円・法人運営事業426千円)

合計 24,562 千円

当期資金収支差額 1,523 千円

(単位:千円)

事業名		溝口健康増進事業(みぞくちテラソ)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町補助金収入	雑収入	
9,131	10,129	5,016	4,903	210	

(事業内容の説明)

町の策定した「ワーキングコミュニティースペース(略称「WCS」)事業」計画に沿って溝口分庁舎(4~5階)において高齢者の軽作業と運動を行う。

溝口健康増進事業は、5階においてスポーツジム及びカラオケ等のコミュニティースペースを収益事業として実施する。

(施設概要) 運動施設(5階) (403.46m²)

【内容:フィットネススペース(マシン内容:有酸素マシン4台、自走式マシン4台、筋トレマシン3台、ストレッチマシン4台、振動マシン2台)】

※フィットネススペースには芝生スペースでのレッスンや大型モニターによるバーチャルレッスンが可能

【内容:カラオケスペース(2室)、セルフカフェスペース(コーヒーマシン1機・自販機1機設置)】

(事業概要)

- ①会員獲得のための販売促進
- ②運動施設の管理運営(マシントーニング、ショートレッスン、バーチャルレッスン他)
- ③カラオケ、セルフカフェスペースの管理運営
- ④その他運営に必要な事業

(収支予算)

【収入】 ①利用料収入 5,016 千円(町体験事業収入含む)

※会員数(15~65歳未満) 105名/月平均(テラソ会員)

会員数(65歳以上) 15名/月平均(ワーキング会員)で算出

※町体験事業(月8回の利用が可能で1回の利用料は1,100円)毎月1名を想定

②町補助金収入 4,903 千円(テラソ人件費に係わる補助金)

③雑収入 210 千円(コーヒーサーバー・自販機売上げ)

合計 10,129 千円

【支出】 ①人件費支出 7,071 千円【正職員1名(パル兼務)・フルタイム1、パート1名(パル兼務)】

②事業費支出 1,942 千円(消費税 200千円、法人税 0千円含む)

③事務費等支出 521 千円

④繰入金支出 595 千円(ワーキング事業へ436千円、法人運営事業へ159千円)

合計 10,129 千円

当期資金収支差額 0 千円